

2017年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ「 沖縄の基地問題に関する意識調査 」

氏名：宮里 憲和

所属学部学科：法経学部 法経学科

Ⅰ. 研究の目的、動機

私は、沖縄の米軍基地に関する事件事故の問題についてテレビや新聞で大きく取り上げられていることに興味があり。今の沖縄の若い人たちは米軍基地に対しての知識や興味関心がないという報道を見て、実際にどうなのかということを知りたくてこの調査を実施することにしました。

Ⅱ. 研究方法、地域、期間

調査方法：記述式のアンケート調査用紙を作成し、授業時に配布し、記入を回収した。

調査対象：沖縄大学法経学部「成定ゼミ」の受講者9名、沖縄本島南部の学生14名
合計23名

調査期間：2017年9月～10月、約1か月

Ⅲ. 結果

問一、あなたの性別・年齢・現在の居住地を教えてください。

調査対象者・沖縄大学学生23名のうち、男性19人、女性4人であった。

平均年齢は20歳。

居住地は、南風原町が2人 八重瀬1人 浦添2人 那覇市8人 豊見城4人 宜野湾3人 南城市2人 中城1人という結果であった。

問二、職種職業を教えてください。

飲食店・焼き肉店が2名で、残り21名は学生と回答していました。

問三、基地問題に関する情報を何で得ているか。

| 情報を得ているもの | 回答者 | パーセンテージ |
|-------------|-----|---------|
| テレビ | 4名 | 18% |
| 新聞 | 1名 | 4% |
| パソコン | 1名 | 4% |
| スマートフォン | 3名 | 14% |
| SNS | 1名 | 4% |
| テレビ・新聞 | 6名 | 26% |
| スマートフォン・テレビ | 7名 | 30% |
| 計 | 23名 | 100% |

米軍基地問題についての情報を何で得ているか尋ねたところ、「スマートフォン・テレビ」が7名（30%）と最も多く、次に「テレビ・新聞」が6人（26%）、続いて、「テレビ」4名（17%）、「スマートフォン」3名（13%）、「パソコン」「SNS」「新聞」が1名（4%）、という結果になりました。

問四、 基地問題について知っていることはありますか

この質問では、わからない・知らないと回答した人は4人しかおらず、大体の人が基地問題について知っているという回答になりました。ほとんどの人が辺野古基地移設問題についてや、米軍による事件事故の多発・オスプレイやヘリによる危険物の落下について書いてくれていました。さらに沖縄には米軍基地が約73%以上あり、日米安保条約の改定による沖縄基地移設の結果にもなっているなど深い意見もいただきました。

問五、 米軍基地について賛成ですか反対ですか

| 米軍基地について | 回答者 | パーセンテージ |
|-----------|-----|---------|
| 賛成 | 7名 | 30% |
| 反対 | 10名 | 44% |
| どちらともいえない | 5名 | 22% |
| その他 | 1名 | 4% |
| 計 | 23名 | 100% |

どちらともいえないが5人(22%)、賛成が7人(30%)、反対が10人(44%)回答なし1人(4%)という結果になりました。賛成派の理由は、「米軍基地について特にしゃべりにくいわけでもなく、米兵の事件も日本人が起こしている事件も同じことだから」という意見や「たくさん人が住んでいる普天間よりは辺野古のほうが移設として最適なんじゃないか」という意見がありました。また多くは「アメリカからの援助」とか「経済効果・安全保障があるため」という意見でした。反対派の理由は「戦争を体験した沖縄に置くのはまた何が起こるかわからないので怖い」、「地域が活性化しない基地があることで県民が脅かされている」などで多くは、ヘリの騒音や墜落事故がよくあることで問題が起こりすぎているという結果になりました。どちらともいえない人の理由は、「安全保障の問題もあるため、軍事基地は必要だとおもうし、しかし、沖縄戦を体験された方の心情等を考えたときに、必ずしも沖縄におく必要があるのかなと思う。辺野古が唯一の解決策とよく聞くが、本当にそうなのか疑問が残る。とても難しい問題だと思います。」という意見がありました。

問六、 米軍基地のメリット デメリットは何ですか

メリットは、沖縄に対する攻撃など米軍が守ってくれることや日本政府からお金がもらえる、米軍基地に関する仕事があるという意見でまとめられていました。デメリットでは、ヘリによる事故が絶えないことや現地民ともめていること土地がなくなる侵略、侵犯に際して日本の防衛力が低下する。戦闘機の騒音でうるさい基地周辺で生活している人が危険などメリットよりデメリットのほうが多く挙げられていました。

問七、 米軍基地は必要か

「必要」と感じる人は5人、「必要なし」は11人、「わからない」という人は7人という結果になりました。「必要」と感じる人は、経済問題や中国や北朝鮮からの攻撃に対して守られているという意見でした。「必要ない」と考えている人は、「沖縄が発展できない」「基地の人たちが問題を起こす」「税金の無駄遣い」「自衛隊が自国を守るべきだ」という意見でした。「わからない」と書いた人は「沖縄に基地がなくなってやっていけるかわからない」「沖縄が経済的に安定する目測があるのならその時は基地をなくしたほうがいいと思う」と回答してくれました。

問八、今の沖縄は平和だと思いますか

今の沖縄は平和だと感じるか？平和だと感じる人は11人、平和ではないと感じる人は9人で、どちらでもない・半々が1人、記入なしが2人という結果になりました。平和だと感じる人は自分の身に危険がなく昔よりは平和だと感じている人が多かった。平和ではないと感じた人は、「米軍基地関係者による事件事故が多い」「米軍基地がある限り平和ではない」「基地があるから政治問題や憲法改正などにより戦争につながる気がする」といった意見がありました。

問九、米軍基地問題について改善してほしいことはありますか

「なし」と回答した人は10人でした。「改善してほしい」と答えた人は13人で理由については、「日本の基地の75%が集中している現状はひどいので、県外への移転で沖縄の負担を減らしてほしい」「1人1人が沖縄の現状を知ることが大事」「とりあえず部品が空から落ちてきたりしてほんとに危ない。やめてほしい」「全てにおいて改善してほしい」「海をあまり埋めないで」「基地をなくしたい」「沖縄戦を体験された方々の心情を考えていただきながら解決に向けて進めてほしい」というたくさんの意見をもらうことができました。

IV. 考察、分析

大学生ということもあってか思っていた以上に回答がスムーズで基地に関する意識が高いことが感じられた。もっと若い世代や高校生などにも調査をしてみると結果が変わってくると思いました。

米軍基地に賛成が7名、反対の人が10名、わからない人が5名だったことに対し、米軍基地が必要であると答えた人が5名、必要なしが11名、わからないが7名という結果になったことから、米軍基地に賛成しているものの、米軍基地が必要であると思わない人がいるということが見受けられました。

V. 今後の展望

この調査の間⑨での結果から、基地に賛成の人も改善してほしいことについて書いてくれたのでやはり改善がないと沖縄には基地を置き続けることはできないと感じました。そのためには一人一人が話し合い、沖縄の現状について知ることが大切で、改善してもらえようように政府に訴え続けることが必要だと思いました。

VI. 終わりに

このアンケートをしてわかったことは、今の学生は米軍基地に関する情報をテレビやスマホだけでなく新聞でも得ているということを知りました。基地から遠い南部での調査だったためか、反対派だけに偏っていたが、賛成している人も多くいて基地があることが当たり前になっていると思いました。基地のお金で生活している人もいるし、守られているので必ずしも基地が必要ないとは言えないということを知りました。

VII. 参考文献、調査協力

沖縄大学の学生

VIII. 指導教員コメント

この調査研究は、沖縄県における若者の基地問題への無関心に焦点が当てられることに問題関心を持ち、沖縄大学の学部生が沖縄の基地問題に対してどのような考えを持っているのか明らかにしようとしたものである。学生一人一人が米軍基地に対して様々な思いを抱えていることがわかり、今後の基地問題を考える上での一つの参考事例になると思われる。